

本市の自殺者の特徴(年代・原因など)について

《自殺者の特徴》

【性別・年代】令和2年以降徐々に男性の自殺者数が増えている。特に40歳代～60歳代の働く世代の自殺者は、令和2年以降全体の約半数を占めている。

令和3年・4年の女性の自殺者数は、それ以前と比べ少ない。それまで多かった40～50歳代の自殺者数が少ない。

【環境】過去5年間の自殺者の内、約75%は同居人がいる。(表3)

【原因】健康問題、経済・生活問題、家庭問題が多い。令和4年は健康問題が特に多い。(表4)

【場所】過去5年間の自殺者の内、約6割が自宅である。(表5)

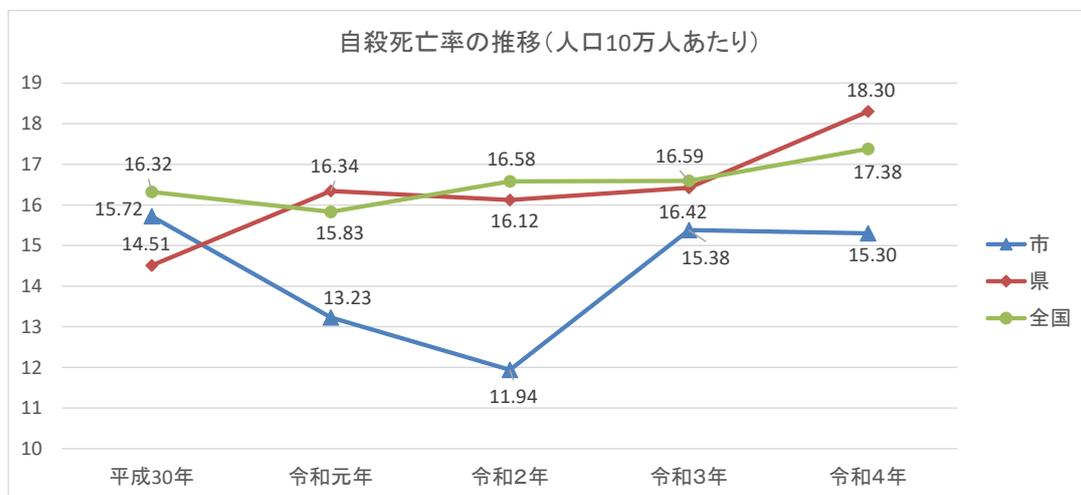
【手段】過去5年間の自殺者の内、約6割が首つりである。(表6)

【未遂歴】過去5年間の自殺者の内、約4割が未遂歴あり。(表7)

* 出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

▼表1：自殺者数と自殺率

		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
自殺者数(人)		13	11	10	13	13
自殺率	市	15.72	13.23	11.94	15.38	15.30
	県	14.51	16.34	16.12	16.42	18.30
	全国	16.32	15.83	16.58	16.59	17.38
市人口(人) (3月末)		83,313	83,852	84,566	85,107	85,675



▼表2：年代別

(人)

年代	平成30年			令和元年			令和2年			令和3年			令和4年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
～19	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3	2	1	0	0	0
20～29	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	1	0	1	1	0
30～39	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
40～49	1	0	1	6	2	4	3	2	1	2	2	0	2	2	0
50～59	6	1	5	1	0	1	5	3	2	2	2	0	3	2	1
60～69	1	0	1	1	0	1	1	1	0	2	1	1	1	1	0
70～79	2	1	1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	3	2	1
80～	2	2	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	2	1	1
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	13	4	9	11	3	8	10	6	4	13	10	3	13	10	3

▼表3:同居人の有無

(人)

同居人	平成30年			令和元年			令和2年			令和3年			令和4年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
有	8	3	5	10	2	8	8	4	4	10	7	3	9	6	3
無	5	1	4	1	1	0	2	2	0	3	3	0	4	4	0
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	13	4	9	11	3	8	10	6	4	13	10	3	13	10	3

▼表4:原因・動機別(重複あり)

(人)

原因・動機	平成30年			令和元年			令和2年			令和3年			令和4年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
家庭問題	5	1	4	3	0	3	1	1	0	3	3	0	2	1	1
健康問題	7	3	4	12	3	9	7	3	4	6	4	2	9	5	4
経済・生活問題	3	1	2	3	1	2	4	3	1	4	4	0	2	2	0
勤務問題	1	0	1	3	3	0	1	0	1	1	1	0	3	3	0
男女問題	2	0	2	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
学校問題	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
その他	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	1	0	2	2	0
不詳	1	0	1	0	0	0	1	1	0	2	2	0	1	1	0
計	20	5	15	23	8	15	15	9	6	18	15	3	19	14	5

▼表5:自殺企図の場所

(人)

場所	平成30年			令和元年			令和2年			令和3年			令和4年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
自宅等	6	3	3	6	1	5	7	4	3	8	5	3	8	6	2
高層ビル	3	0	3	3	1	2	2	2	0	0	0	0	1	1	0
乗物	1	1	0	2	1	1	0	0	0	2	2	0	1	1	0
海(湖)・河川等	2	0	2	0	0	0	1	0	1	1	1	0	2	1	1
山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	1	0
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	13	4	9	11	3	8	10	6	4	13	10	3	13	10	3

▼表6:自殺の企図手段

(人)

手段	平成30年			令和元年			令和2年			令和3年			令和4年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
首つり	5	3	2	6	1	5	7	4	3	9	6	3	9	7	2
服毒	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
練炭等	1	1	0	2	1	1	0	0	0	2	2	0	2	2	0
飛降り	4	0	4	3	1	2	2	2	0	1	1	0	1	1	0
飛込み	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
その他	2	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	13	4	9	11	3	8	10	6	4	13	10	3	13	10	3

▼表7:未遂歴の有無

(人)

自殺未遂歴	平成30年			令和元年			令和2年			令和3年			令和4年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
有	6	2	4	7	2	5	6	3	3	4	3	1	3	2	1
無	7	2	5	4	1	3	1	1	0	8	6	2	8	6	2
不詳	0	0	0	0	0	0	3	2	1	1	1	0	2	2	0
計	13	4	9	11	3	8	10	6	4	13	10	3	13	10	3

(参考) 令和4年度 守山市の相談支援対応状況について

1 自殺未遂者支援の状況

(1) 把握経路

ア 湖南いのちのサポート相談事業(保健所事業)

自殺未遂により、県内の救急告知病院を受診した本人または家族に対して、病院から事業の説明を行い、同意が取れた方について保健所を通じて市(自殺対策担当課)に連絡が入る。保健所と連携の上、電話・訪問・面接等の方法で、自殺未遂をした本人やその家族に対して相談支援を行い、支援に必要な関係機関と連携を図りながら再企図を防止する。

イ その他関係機関からの連絡

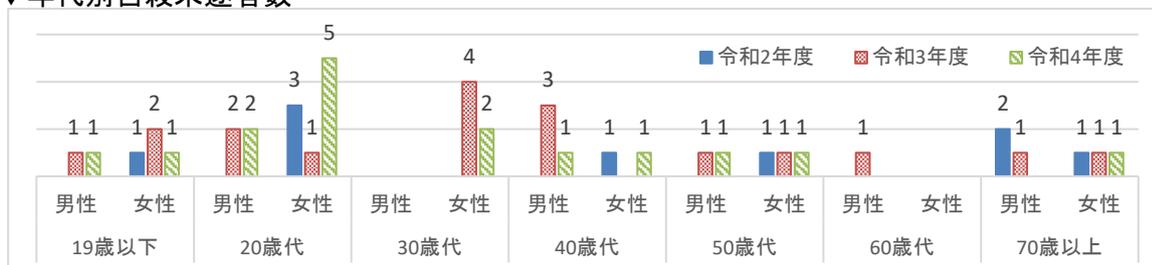
庁内関係機関が把握した自殺未遂者について、関係機関から支援についての相談が入り、連携しながら支援を行う。

(2) 自殺未遂者の新規把握人数(実)

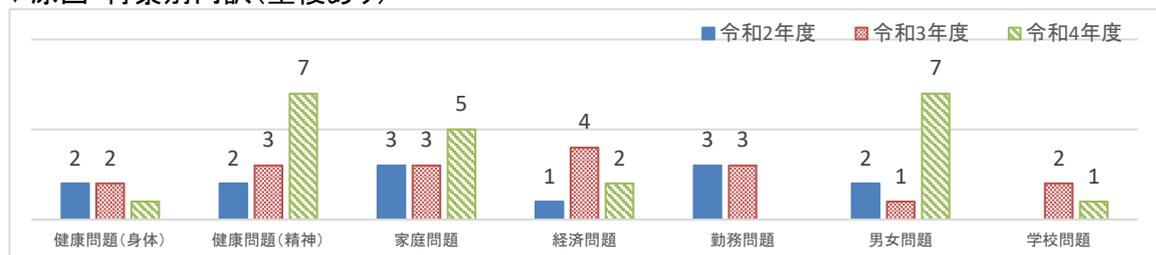
	令和2年度	令和3年度		令和4年度		計
		湖南いのち	その他	湖南いのち	その他	
男性	2	8	1	5	0	16
女性	7	4	5	9	2	27
計	9	12	6	14	2	43

※令和2年度については、湖南いのちサポート事業から把握したケースの件数を計上。

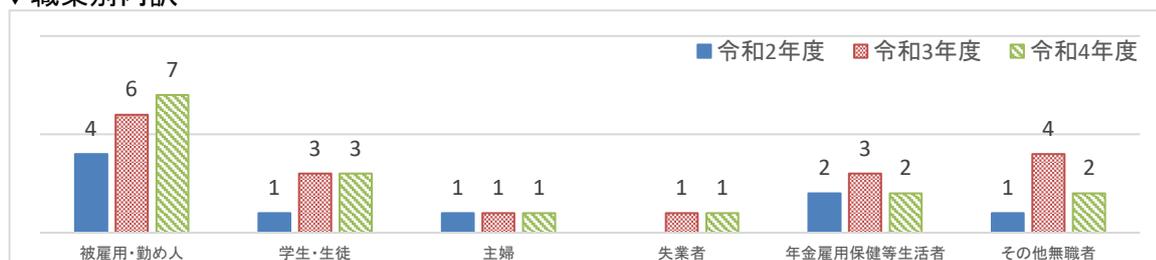
▼年代別自殺未遂者数



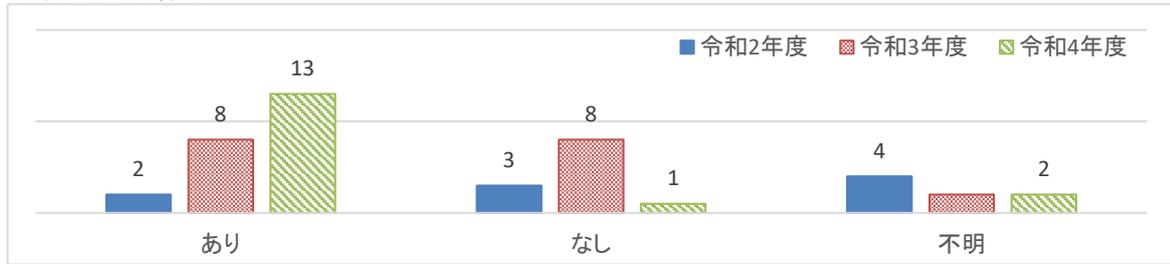
▼原因・背景別内訳(重複あり)



▼職業別内訳



▼未遂歴の有無



2 精神保健相談対応の実績

▼相談対応（延件数）

	R2	R3	R4
面談	111	121	122
訪問	123	91	70
電話	396	420	303
ケース会議	73	51	36
合計	703	683	531

▼R4相談対応の内訳(延人数)

